

複合皮膜品質認証制度発足

協会取手試験所と中国有色金属質量監査検閲センターが共同で
品質試験を実施



ロゴマーク

QUASCAP Japan（菊池哲準備委員会委員長＝
軽金属製品協会元専務理事）と QUASCAP China
（孫洋明主任＝中国有色金属研究総院測試技術研究
所所長）はこのほど北京の中国有色金属研究総院に
おいて陽極酸化複合皮膜の国際品質認証制度＝
QUASCAP(カスカップ)を発足させることで合意し
た。

陽極酸化皮膜上に電着塗装した複合皮膜は、日本で
開発され、JISH8602 が制定されて、アルミ建材の
代表的な表面処理となった。現在では中国をはじめ
とする東アジア全体で大量生産されている。かねて

より（一社）軽金属製品協会は、中国有色金属標準化委員会と協力して JISH8602 に対応
する ISO 規格制定に向けた活動を行い、2013 年に ISO28340 が制定された。これを受けて
日中の関係者の間で ISO28340 に適合する複合皮膜の国際認証制度を制定しようという機
運が生まれ、日中両国に QUASCAP 準備委員会を設立して、準備作業が行われてきた。

QUASCAP とは“**Q**uality **A**pproval **S**ystem for **C**ombined coatings of **A**luminium **P**rofiles”
の略である。アルミ表面処理の国際認証制度としては、これまでスイスのチューリッヒに
本部を置く QUALICOAT(アルミ建材の粉体塗装)と QUALANOD(建築用アルマイト)があ
り、日本においても既に認証事業を行っている。従来複合皮膜については日本国内では
JISH8602 に基づく認証が行われているが、生産と市場の国際化に合わせて ISO に基づく
認証が求められてきた。QUALICOAT、QUALANOD の認証に加え QUASCAP 認証制度
が発足することにより、屋外耐久製品のアルミ表面処理の国際品質認証制度が出揃うこと
になる。なお、ISO28340 と JISH8602 は基本的に同等であるが一部試験方法に若干の違
いがある。この QUASCAP 制度では日本の需要家向けの海外複合皮膜向上のために
JISH8602 に基づく認証も行えることとしている。 以上

（詳しくはアルミプロダクツ 2016 夏号：8 月 1 日発行を参照してください）



合意書に調印し握手する孫主任と菊池委
員長。左は協会佐藤専務理事と田中義朗委
員。右側は研究総院の劉副主任と馬副所長

問い合わせ先：QUASCAP JAPAN 事務局

一般社団法人軽金属製品協会内

電話：0297-78-2511 担当 菊池、又は

03-3583-7971 担当 佐藤、伊藤

e-mail: quascap-j@apajapan.org